

# 第5学年1組外国語科学習指導案

令和3年11月12日（金）

指導者 瀧川 智子

ALT Sean Koopman

1 単元名 NEW HORIZON Elementary 5 Unit 7 “Welcome to Japan.”  
好きな日本文化を紹介しよう。

## 2 単元の目標

自分のことを伝えたり、相手に日本文化についてよく知ってもらったりするために、日本の行事や遊びや食べ物等についての短い話を聞いて概要を捉えたり、自分が好きな日本文化について、伝えようとする内容を整理した上で話したりすることができる。また、自分が好きな日本文化について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書くことができる。

## 3 言語材料

“Why do you like～?”，“We have ～ in…”，“What do you do on～?”  
“I usually～.”，“You can～.”，“It’s～.”

季節（spring等）、形（circle等）、遊び（camping等）、年中行事（New Year’s Day等）、気持ち（fun等）、味（sweet等）

## 4 関係する領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと （発表）	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ち等を、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

※聞くこと、書くことについては目標に向けては指導を行うが、本単元で記録に残す評価は行わない。

## 5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「発表」	<p>&lt;知識&gt; 日本の行事や食べ物、遊び等の日本文化等に関する語句、Why do you like～? We have～. What do you do～? I usually～. You can～.の表現について理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; 日本の行事や食べ物、遊び等の日本文化等に関する語句、Why do you like～? We have～. What do you do～? I usually～. You can～.等を用いて、考えや気持ち等を話す技能を身に付けている。</p>	<p>相手によりよく分かってもらえるように、日本の行事や食べ物、遊び等、自分の好きな日本文化等について、考えや気持ち等を話している。</p>	<p>相手によりよく分かってもらえるように、日本の行事や食べ物、遊び等、自分の好きな日本文化等について、考えや気持ち等を話そうとしている。</p>

## 6 基盤

- (1) 本単元は、他国の文化について理解を深めると共に、自国である日本の文化の良さについて気付くことができる単元である。また、英語を使って日本のことを紹介するだけでなく、自分の好きな日本文化について紹介することで、さらにその良さが相手に理解してもらえるよう、伝え方を考えたり、話す内容を整理したりして紹介する技能が身に付く単元である。子どもたちにとって「相手に配慮しながら」話すリアルな場面であり、既習事項を使いながら自分たちで判断し、表現していく力をつけるのに適した単元であると考えられる。
- (2) 本学級の児童は外国語に対する関心が高く、外国語で自分の思いを伝え合うことや、外国語の授業や World Day 等の時間で様々な文化や習慣を知ることに対して意欲が高い。また、外国語を通して友だちや先生のことをさらに深く知ることができることにとても喜びを感じている児童が多くいる。

また、外国語の授業だけでなく、様々な場面でお互いに気付いたことを話したり、クラスの友だちの前で何か発表したりすることに対して、「いいね。」や「もっとこうしたら良いと思う。」等、言い合える関係ができています。しかし、一方的に伝えるだけになってしまったり、言い方や言葉が相手にとってきつくなってしまったりすることもある。この単元を通して、国際交流員の方々に向けて自分の伝えたいことを話すことで、相手に自分の伝えたいことが伝わっているか確認したり、声の大きさや速さ、表情を工夫したりし、「相手に配慮して話す」ことが意識できるよう学習を進めていく。そして、相手に伝わっているか確認したり伝え方等を考えたりすること等は、この授業を通して外国語だけでなく他の授業や日常場面とも繋げられるようにしていきたい。
- (3) 本単元のゴールは、国際交流員の方々を招いて World Day～Japan Version～をし、日本の文化について伝えることである。導入で、国際交流員の方々から、「好きな文化を教えてほしい」というメッセージを受け取ることで、自分が好きな日本文化を伝えたいという思いがもてるようにする。次に、自分の好きな日本の文化は何かイメージがもてるようにするために、日本の文化にはどのようなものがあるのか共有したり、日本文化についての短い話を聞いたりする。そして、紹介する際の表現を身につけるために、気持ちや味等を表す言葉を知ることや、既習の表現を使って好きな日本の文化について聞き合ったり、理由をたずね合う活動をしたりし、くり返し表現を使って慣れ親しめるようにする。また、国際交流員の方々に、自分の好きな日本の文化をより伝えやすくするために、今回は紹介カードを作り、それを使いながら伝えることとする。その際に写真や絵だけではなく、より伝えたいことが伝わるようにするために紹介したいものの名称を英語やローマ字で書いたり、“It’s fun.” や “It’s beautiful.” 等の気持ちや様子を表す言葉を使って書いたりする。今回、話し方や表情を考えるといった「相手に配慮して話す」ことが意識できるようするために、児童同士で見合ったり、タブレットを使って録画して自分で見てみたりする時間をとる。World Day～Japan Version～の時間には、国際交流員の方々に反応してもらったり、分かったことや聞いた感想を伝えてもらったりすることで、自分たちの文化をより知ってもらったり、自分が伝えたいことが伝わることの喜びを実感できたりするようにしたい。また、「相手に配慮して話す」ことの大切さや良さに気付けるようにしたい。

## 7 指導と評価の計画（全8時間）

（「話すこと[発表]」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画）

時	目標◎・主な活動○【】	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	
1	◎日本の行事や食べ物、遊び等の言い方を知ったり、紹介する表現について理解したりする。 【Let's Watch and Think 1】 国際交流員の方々の動画 ○日本にどんな行事や食べ物、遊び等があるか考え、言い方を確認する。 【Let's Watch And Think 2】 紹介のデモンストレーションを見る。 【Let's Sing】				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2	◎日本の行事や食べ物、遊び等のまとめのある話を聞いて、その概要を捉えることができる。 【Let's Sing】 【Let's Try 1】キーワードゲーム 【Starting Out】 ・様子を表す言葉を知る。 【Let's Listen 1】 【Sounds and Letters】				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
3 本時	◎様子や味を表す言葉を使って、日本の行事や食べ物、遊び等について言ったり聞いたりすることができる。 【Let's Chant】 【Small Talk】What season do you like? 【Let's Listen 2】先生とALTの話 【Let's Try 2】3 hint quiz 日本の文化について				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
4	◎国際交流員の方々に伝えるために、自分が伝えたい好きな日本の文化について、様子や味等言うことができる。 【Let's Chant】 【Small Talk】What Japanese culture do you like? 【Let's Listen 3】先生とALTの話 ○紹介したいことをワークシートに記入する。 【Let's Try 3】紹介し合う。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
5	◎国際交流員の方々に伝えるために、自分が伝えたい好きな日本の文化について、できることやすること等言うことができる。 【Let's Sing】 【Let's Chant】 ○することやできることなどワークシートに記入する。 【Let's Try 4】紹介し合う。 ○紹介カードの構想を考える。 【Sounds and Letters】				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
6	◎相手によりよく分かってもらえるように、自分の好きな日本の文化について、例文を参考に、その名称や様子等を表す語句を書くことができる。 【Let's Sing】 【Let's Chant】 【Small Talk】What do you enjoy in○○（季節）？ ○紹介カードをつくる。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。

7	<p>◎相手によりよく分かってもらえるように、自分の好きな日本の文化について、伝える内容を整理しながら考えや気持ち等を話すことができる。</p> <p>【Let's Sing】 【Let's Chant】</p> <p>○グループになり、お互いの紹介を見合ったり、どのように紹介するか考えたりする。</p>	発		<p>【「話すこと[発表]」の記録に残す評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の行事や食べ物、遊び等の日本文化等に関する語句, Why do you like~? We have~. What do you do~? I usually~. You can~. の表現について理解している。</li> <li>[知識] / 日本の行事や食べ物、遊び等の日本文化等に関する語句, Why do you like~? We have~. What do you do~? I usually~. You can~. 等を用いて、考えや気持ち等を話す技能を身に付けている。[技能]</li> </ul> <p>&lt;行動観察, グループ発表, 紹介カード, ふり返り&gt;</p>
8	<p>◎国際交流員の方々に向けて、自分の好きな日本の文化について、伝える内容を整理した上で考えや気持ち等を話すことができる。</p> <p>【Let's Sing】国際交流員の方々にも聞いてもらう。</p> <p>○World Day~Japan Version~ 実際に紹介する。</p> <p>○感想や意見交換をする。</p>	発	発	<p>【「話すこと[発表]」の記録に残す評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手によりよく分かってもらえるように、日本の行事や食べ物、遊び等、自分の好きな日本文化等について、考えや気持ち等を話している。</li> <li>相手によりよく分かってもらえるように、日本の行事や食べ物、遊び等、自分の好きな日本文化等について、考えや気持ち等を話そうとしている。</li> </ul> <p>&lt;行動観察, グループ発表, 紹介カード, ふり返り&gt;</p>

## 8 本時の学習

(1) 目標 様子や味を表す言葉を使って、日本の行事や食べ物、遊び等について言ったり聞いたりすることができる。

### (2) 展開 (3 / 8)

学習場面と子どもの取り組み	教師の支援
<p>1. Greeting S: Hello, Satoko (Sean) sensei. T: What day is it today? S: It's ○○day. T: What's the date today? S: It's November 12th.</p> <p>2. Let's Chant Why do you like winter? を聞き、言ってみる。</p> <p>3. Small Talk T: What season do you like? S: I like summer. T: Why do you like summer? S: I like ice cream. It's sweet. We have a summer festival. I can swim in the sea. It's fun!</p> <p>・味を表す言葉を知る。 delicious, sweet, bitter, salty 等</p> <p>4. 本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体で挨拶をしたり、日直やALTの先生の質問に答えたりし、外国語科の授業の雰囲気をつくる。</li> <li>児童の様子を見ながら、速度を変えたり字幕を付けたりし、単語や表現が自信をもって言えるよう工夫する。</li> <li>教師とALTでSmall Talkをし、どのようなことが言われていたか共有する。</li> <li>様子や味を表す言葉があることに気付けるようにし、どのような言葉があるのか確認する。</li> <li>教師から個別に話しかけ、児童が好きな季節とその理由をI like~. や It's~ (様子や味を表す言葉). 等の表現を使って英語で言える場面をつくる。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">日本の文化について言ったり聞いたりしよう。</div>	

<p>5. Let's Listen 2 教師とALTの話聞き、線を結ぶ。 T: Let's do 3 hint quiz about My favorite Japanese culture. A: Ok! T: Question No.1. What's this event? Hint 1. We have this in summer. Hint 2. It's beautiful and exciting. Hint 3. You can see it in night sky. A: I got it. Is it fireworks? T: Yes. That's right!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに紙面の内容を確認する。</li> <li>・前時で確認した日本の行事や遊び等についてまとめたもの等で他の様々な遊び等にも触れ、言い方が分かるようにする。</li> <li>・Let's Try 2のクイズの出し方の参考となるようにする。</li> </ul>
<p>6. Let's Try 2 友だちとペアになり、興味のある日本の文化についての3 hint quizを出し合う。 S1: What's this? Hint 1, It's in spring. Hint 2, It's beautiful. Hint 3, You can see pink flowers. S2: It's hamami. S1: That's right.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズをする手がかりとして、クラスで考えた日本の行事や遊び等の一覧をワークシートにして配る。</li> <li>・必ず様子や気持ちを表す語句も使うようにし、慣れ親しめるようにする。</li> <li>・色や形等の既習の表現も使えることを伝え、表現の幅が広がるようにする。</li> <li>・言い方が分からないものは日本語で話して良いこととするが、後で全体やALTと確認して共有する。</li> <li>・何人かみんなの前でクイズをして全員で考える時間をとる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。見届けの視点を参考に、児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>
<p>7. ふり返り ・3ヒントクイズをして、いろんな言葉が使って、日本の文化を言ったり聞いたりできたよ。 ・日本の文化を紹介する言葉が分かったよ。それを使って、交流員さんに好きな文化を伝えられそうだよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふり返りをクラスで共有することで、できたことや、次回への見通し等がもてるようにする。</li> </ul>

(3) 見届けの視点

目標が達成されたと判断される状況	努力を要する状況への手立て
<p>様子や味を表す言葉を使って、日本の行事や食べ物、遊び等について言ったり聞いたりしている。 例：It's delicious. It's noodle. It's gray. (It's soba.)</p>	<p>どんなことがヒントになりそうかや、picture dictionaryなどを参考にしよう声をかけ、教師やALTと一緒に考える。また、言い方が分からない言葉を全体で共有し、言い方が分かるようにする。</p>